

矢作川がつなぐ人びと、

未来へのキセキ

矢作川流域圏懇談会について

国土交通省 中部地方整備局

豊橋河川事務所

山路 哲

令和5年2月

矢作川流域圏とは

源流	: 大川入山 (1,908m)
流域面積	: 1,830km ²
幹川流路延長	: 118km
流域市町村	: 8市2町2村
利水地域市町村	: 14市4町
流域市町村内人口	: 約141万人 (R2国勢調査)
年間降水量	: 約1,400~2,200mm

■矢作川流域圏の定義

矢作川流域圏とは、「矢作川流域、その流域に接する海域、及び矢作川の水利用地域や矢作川が氾濫する地域を含む一体的な地域」と定義する

「流域は一つ、
運命共同体」



矢作川における多様な主体による活動

矢作川沿岸水質保全対策協議会
(矢水協) 1969年設立

矢作川流域の水質保全のため調査・対策を行い、監視活動や水質調査を実施。

事前に矢水協の同意を得ることを条件とする“**矢作川方式**”を確立し、**流域の秩序ある開発及び河川水質の改善**に寄与。

矢作川流域開発研究会
(矢流研) 1971年設立

矢作川流域の将来の方向性と新しい地域づくりを目的とし、

“**流域はひとつ、運命共同体**”を合い言葉に、**上流と下流、市町村の境界を超えた相互理解**を深めるための交流、啓発活動等を推進。

矢作川沿岸水質保全対策協議会
(矢水協) 2001年設立

“**流域内の上下流連携**”

“**水源、土砂源の管理**”

“**一体的な川づくりとまちづくり**”

“**ダムによる川の環境に対する影響**”

など、矢作川流域の管理のあり方や自然環境と調和した川づくりについて意見交換を実施。

2002年9月に提言書

「**調和のとれた矢作川流域圏の実現に向けて**」を公表。



矢作川水系河川整備計画



対象区間

大臣管理区間、並びに本計画の目標の達成に必要な施策を講じる必要がある指定区間及び流域

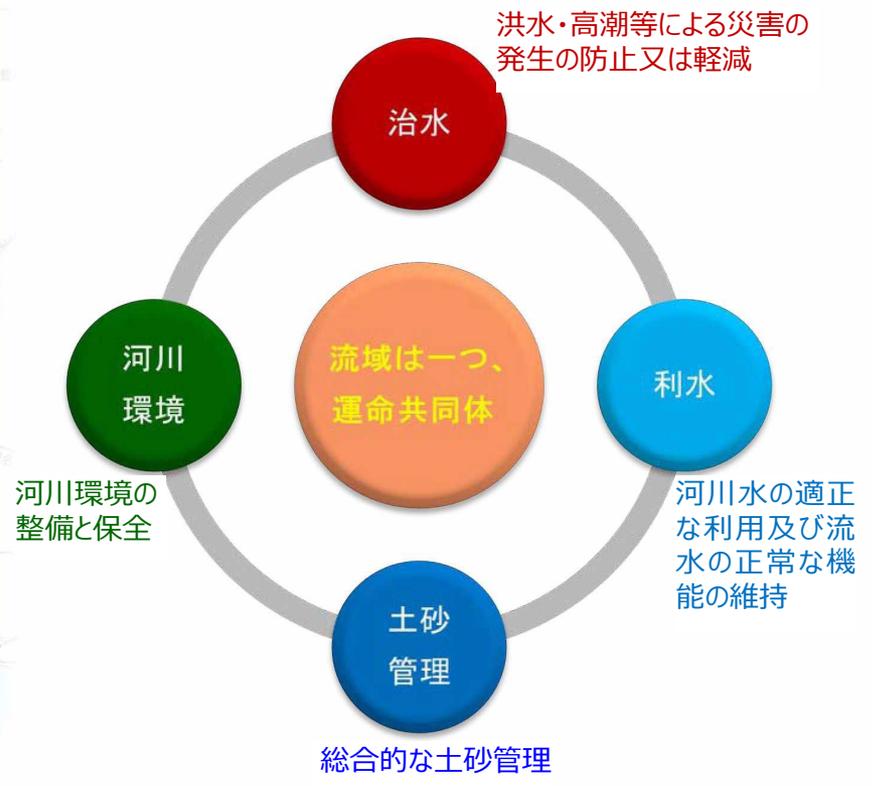
対象期間

整備目標に対し河川整備の効果を発現させるために必要な期間として概ね**30年間**

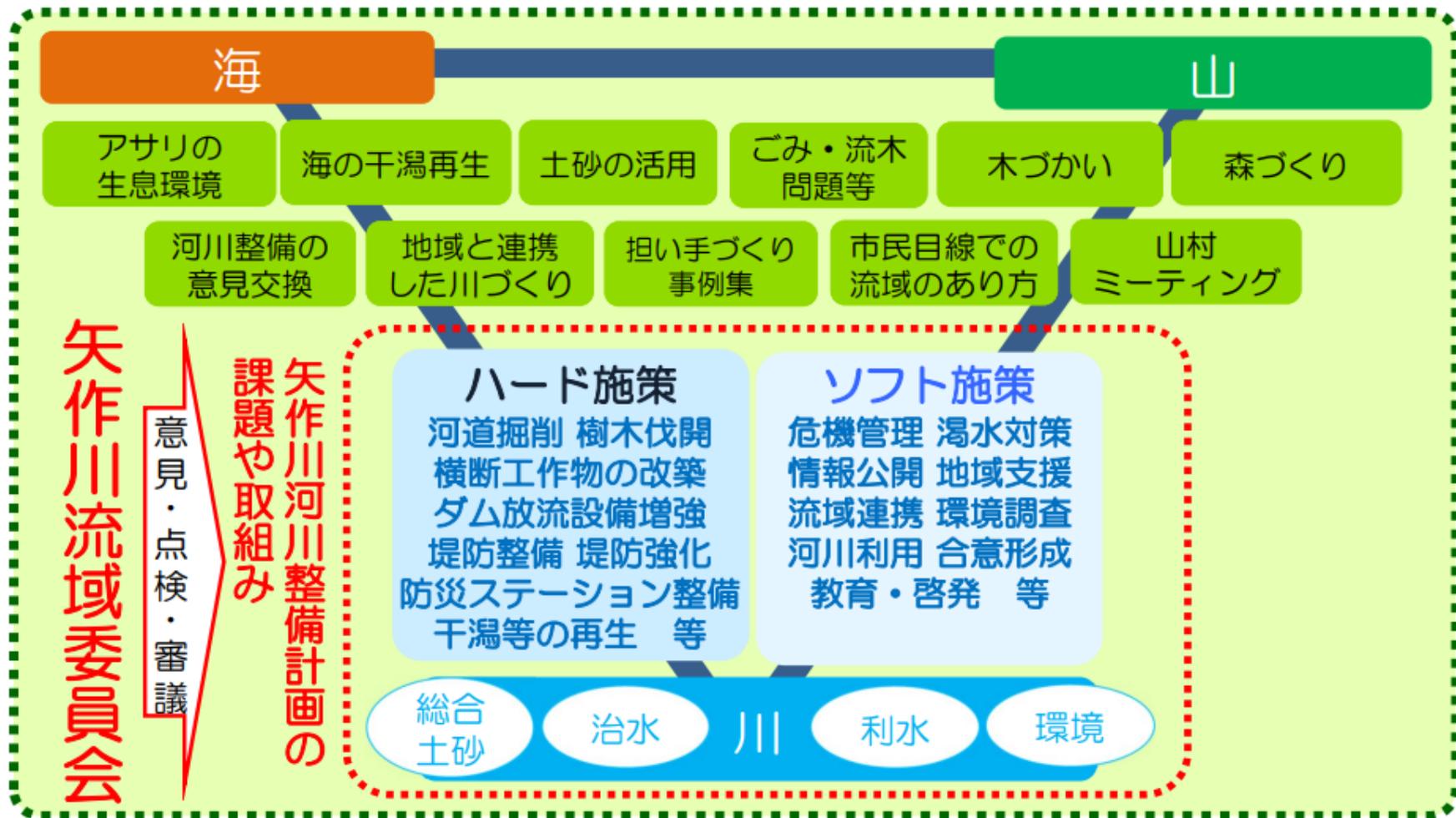
●河川整備計画 (河川法第16条の2)

河川管理者は、河川整備基本方針に沿って計画的に河川の整備を実施すべき区間について、当該河川の整備に関する計画を定めておかなければならない。

- 河川整備基本方針に基づき20～30年後の河川の整備目標と整備内容を決めます。



流域圏一体化の取り組み



矢作川流域圏内における課題や取り組み

情報共有・意見交換・協働

矢作川流域圏懇談会

矢作川流域圏懇談会のしくみ

矢作川流域圏のあり方を検討する視点

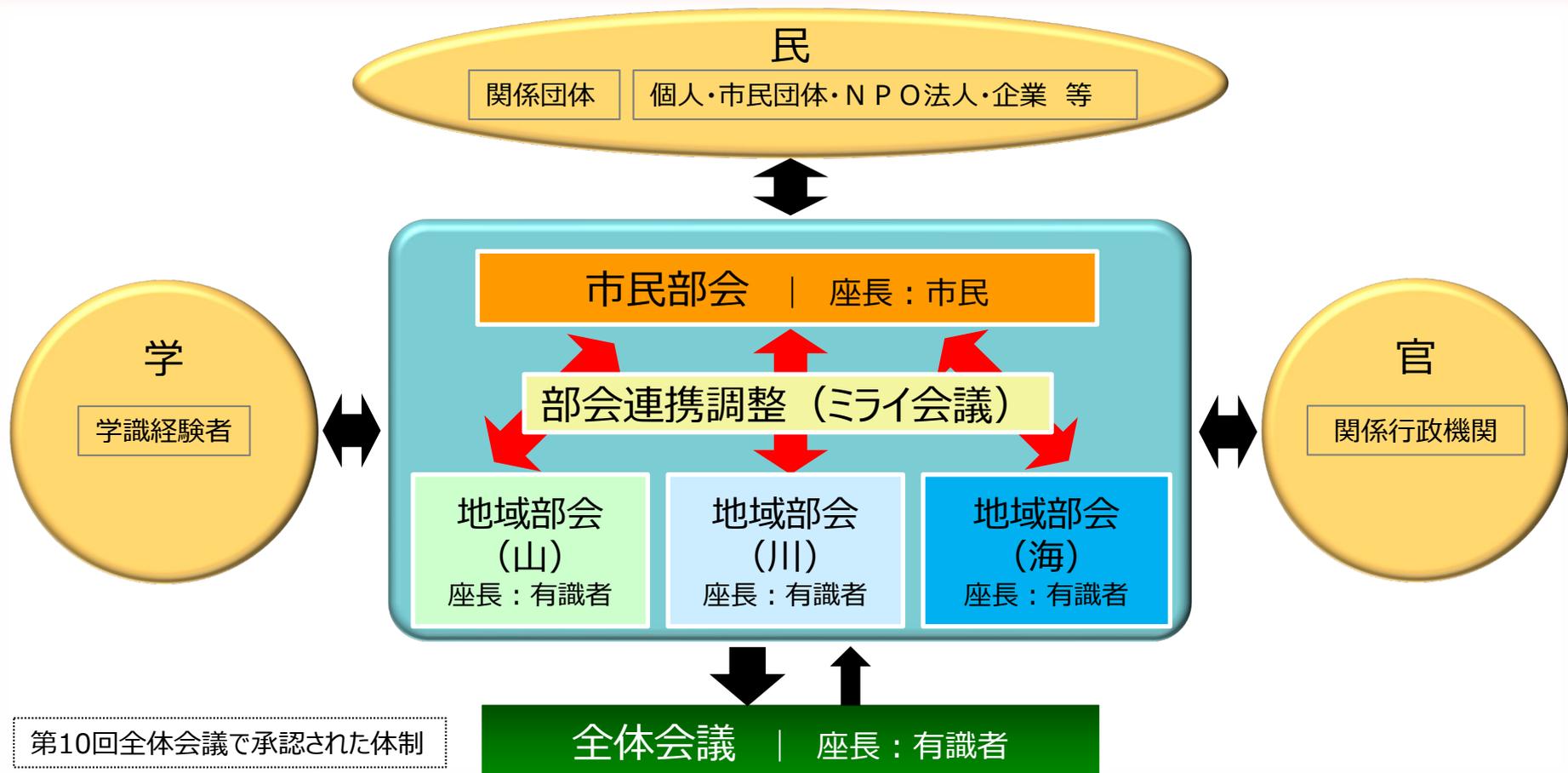
“流域は一つ、運命共同体”

113組織 374名が登録 (R5.1時点)

懇談会発足時 (H22.10)
70組織 135名

- ①流域圏住民・関係者の連携強化
- ②流域圏住民の啓発活動

- ③行政と住民が連携した調査・研究の充実
- ④河川を中心とした流域の社会基盤形成及び地域の活性化



懇談会の目的・運営方針

【懇談会の目的・運営方針】

懇談会の目的

- 矢作川流域圏に関係する各組織のネットワーク化を図る
- 流域圏一体化の取り組み及び矢作川の河川整備に関わる情報共有・意見交換を図る

懇談会の運営方針

(1) 市民部会の活動の活発化

- 市民部会主体のイベント、勉強会の計画を行う。

(2) 課題解決に向けた山・川・海部会の積極的な議論と交流

- 流域の課題解決に向けた具体的な行動を積極的に行う。
- 勉強会やイベント等を通し、山・川・海部会の関係者が協働する。

(3) 河川整備計画のフォローアップ

- 「河川整備に関わる情報共有・意見交換」の取り組みを全体会議で共有し、意見交換を行う。

年間の活動実績一覧（令和4年度事例）

会議名称	役割	今年度の実施日・回数
市民部会 （4回開催）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 住民の視点から、具体的な課題の提起や課題解決のアイデア出しなどを行う ➤ 山・川・海の部会ごとの個別の課題や連携に向けた話し合いの場 ➤ 勉強会の企画について話し合いを行う場 	第12回：令和4年5月19日 第13回：令和4年6月21日 第14回：令和4年7月20日 まとめの会：令和5年1月27日
勉強会【公開講座】 （1回開催）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 懇談会の中で挙げられた課題の解決を行う場、学びの場として市民部会発、海部会企画の勉強会を行い、知識の共有と相互理解を深める場 	第3回公開講座：令和4年8月20日
流域連携イベント （4回開催）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 流域一体化の取り組みに関するイベントへの主催・参加 	令和4年9月2日～4日 第14回いい川・いい川づくりWS 令和4年9月18日 2022年 矢作川感謝祭 令和4年10月9日 第9回三河湾大感謝祭 令和4年11月12～13日 第1回 中部のいい川WS
地域部会WG （9回開催）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 必要に応じて開催し、具体的な課題への対応や協議・情報共有 	山：4回 川：2回 海：2回 海・川合同：1回
地域部会まとめの会 （3回開催）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 流域圏を山・川・海の3つに分け、それぞれの地域特性に応じた課題の明確化とその解決手法を話し合う ➤ 民・学・官の3者が公平な立場で意見交換・情報共有を行う場 	川：令和5年1月31日 海：令和5年1月24日 山：令和5年1月30日
部会連携調整 【通称：ミライ会議】 （5回開催）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 山・川・海の一部メンバーで構成 ➤ 今後の矢作川流域圏懇談会を考える場 	第6回：令和4年4月6日 第7回：令和4年7月13日 第8回：令和4年9月27日 第9回：令和4年11月17日 第10回：令和5年1月18日
全体会議 （1回開催）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 各部会で検討した課題やその解決手法を流域全体としてとりまとめ、情報を一元化するとともに、各部会へのフィードバックを行う ➤ 各部会で検討した内容を総合調整する場 	令和5年2月17日

最近の活動実績

＜海部会＞

「ごみの問題」「豊かな海の再生に向けた取り組み」「海と人の絆再生」「土砂の問題」の4つのテーマについて、情報共有と意見交換を実施。



東幡豆海岸現地視察



＜川部会＞

本川モデル:置き土実験、河川改修(鵜の首地区)、流域治水プロジェクト
支川モデル:初音川ピオトープ
に関する情報共有と意見交換を実施。



置き土実験地(時瀬・越戸ダム)現地視察



初音川ピオトープ現地視察

＜山部会＞

「流域圏担い手づくり事例集」「山村ミーティング」「森づくりガイドライン」「木づかいガイドライン」の4つのテーマについて、引き続き情報共有と意見交換を実施。



矢作川流域山づくりワークショップ
現地視察(岡崎市・豊田市)

＜市民部会＞

地域部会(山・川・海)合同でのバスツアーの企画・開催や、「マイクロプラスチック」「ネオニコチノイド系農薬」の2つのテーマで勉強会を実施。

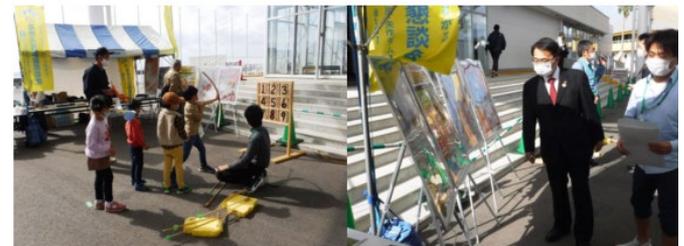
市民講座(勉強会)
の開催



＜地域連携＞

いい川・いい川づくりワークショップ、三河湾大感謝祭へ参加し、流域圏懇談会の活動を発信。

三河湾
大感謝祭
における
懇談会
展示ブース



今後の活動目標

【今後の活動目標】

(1) 市民部会と地域部会（山・川・海）の取り組み

- これまでの各部会の活動成果を明瞭化することで、目標を明らかにしていく

部会	取り組み内容
市民	①流域全体に関わる課題をテーマとして設定し、公開講座を実施する。 ②地域部会（山・川・海）合同でのバスツアーを企画・開催する。 ③農業従事者や大学関係者など、新たなつながりを広げる。
山	①次の10年を見据えながら、山部会の在り方を模索するとともに、4つの活動テーマを軸として、情報共有と意見交換を行う。また、他部会との連携を通し、流域としての課題解決に貢献する。
川	①土砂をキーワードに他部会を巻き込んだ情報共有と意見交換を行うとともに、昨今頻発する自然災害や環境の悪化に注目し、矢作川の望ましい姿を検討する。
海	①4つのテーマに対して情報共有と意見交換を行うだけでなく、情報を発信する。また、それぞれのテーマについて、相互に作用し合っていることを意識しながら、課題の解決手法について検討する。

(2) 河川整備計画のフォローアップ

- 河川整備計画のフォローアップの取り組みを通じて流域圏一体化につなげることを目指す。

今後の課題と展開



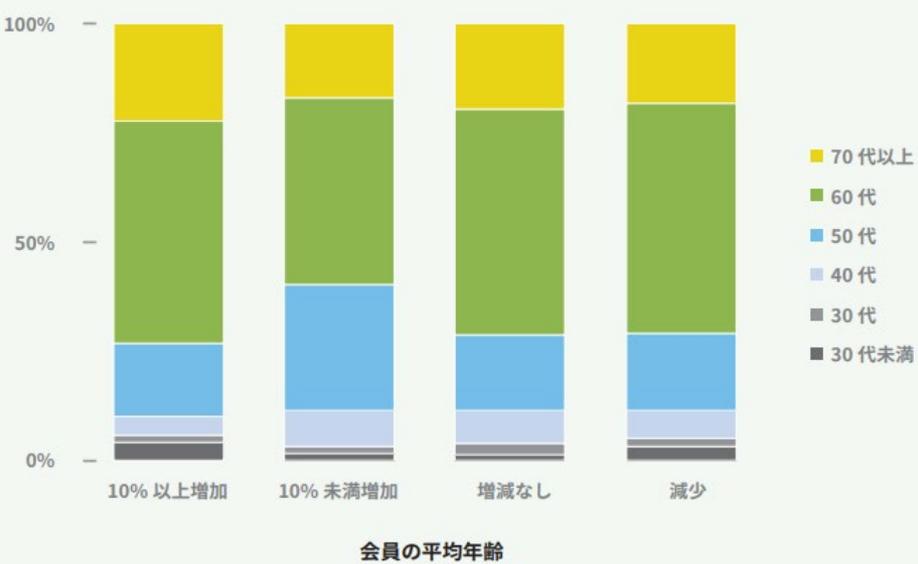
個別ワーキングの開催



勉強会の実施

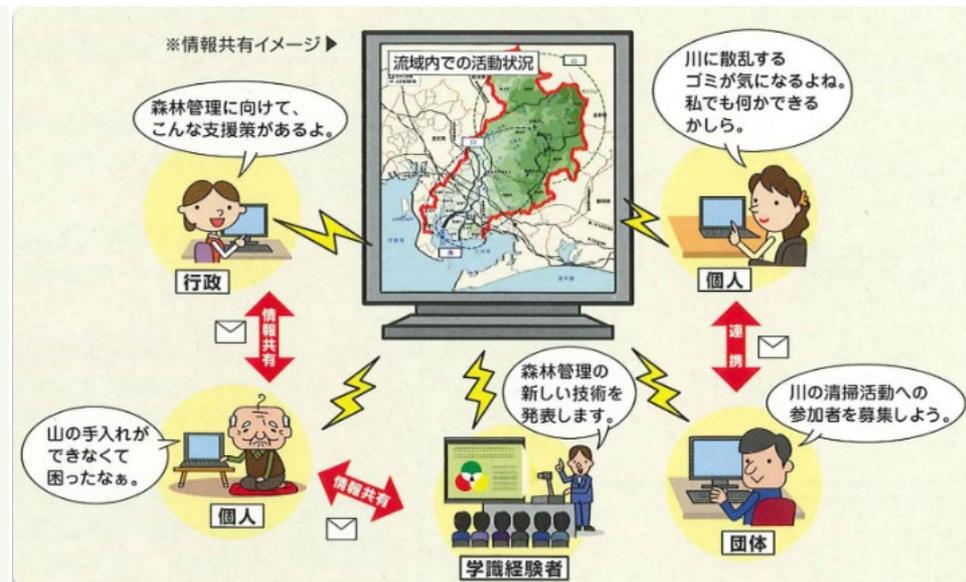


まとめの全体会議



NPO活動会員の高齢化

「川や水の活動団体調査 調査結果の概要」
(平成29年度 公益社団法人 日本河川協会)



SNSを通じた活動の繋がり